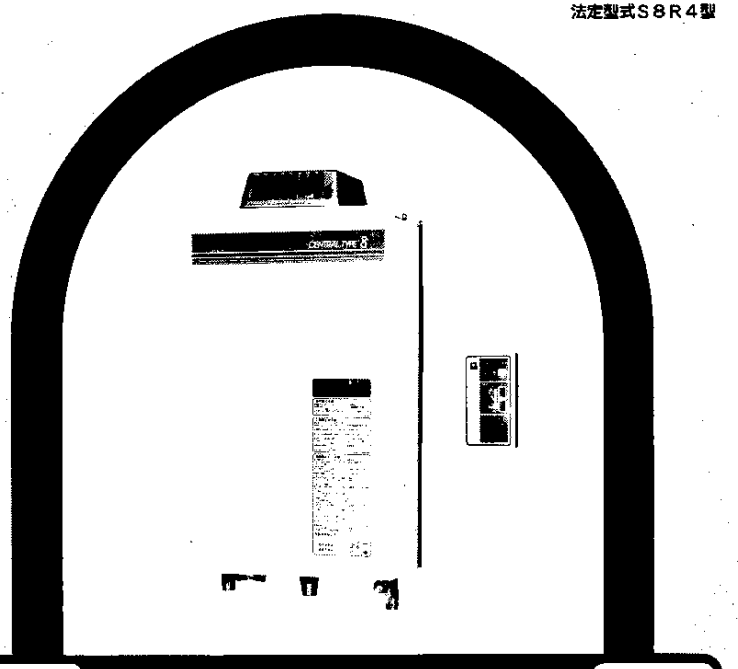
大阪ガス

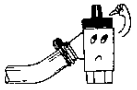
ガス湯沸器 取扱説明書

33-839型
33-819型

保証書付

法定型式S10R2型
法定型式S8R4型





ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を

使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

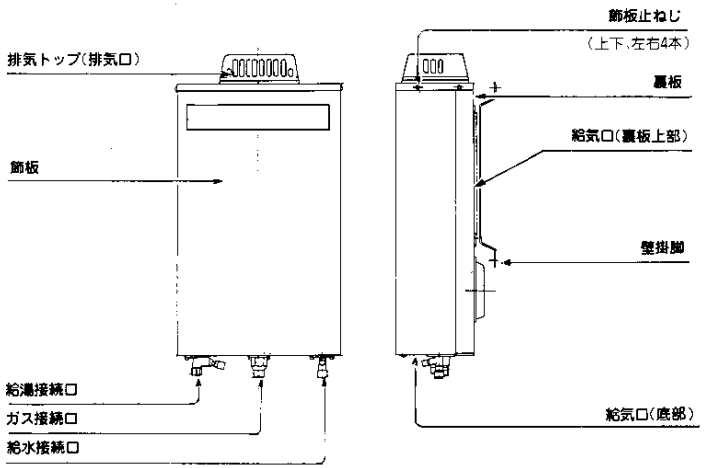
このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

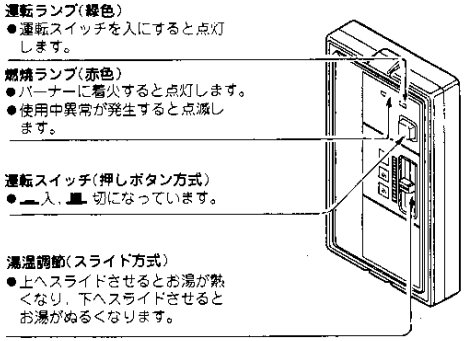
もくじ

●各部の名称…… 2
●特に注意していただきたいこと…… 3
●器具の設置…… 7
●使用手順…… 8
●使用時のご注意…… 10
●日常の点検・手入れ…… 14
●故障・異常の見分け方と処置方法…… 16
●アフターサービスのお申し込み…… 17
●特　長…… 18
●仕様一覧表…… 19
●寸法図…… 20
●メ　モ…… 21
●本製品と快適なくらしのために…… 22

器　具



メーンコントローラ

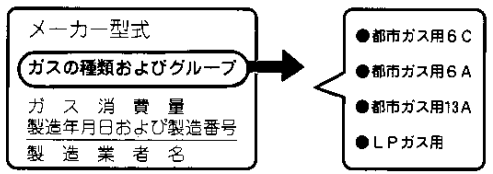


安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

（銘　板）



- ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●電源の電圧と周波数を確かめてください。

この器具はＡＣ100Ｖ、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。

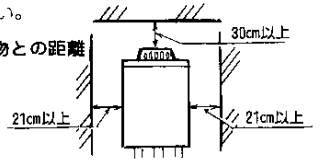
- 給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

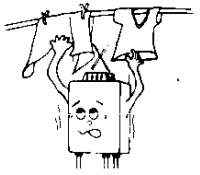
●器具の使用場所について

①屋外設置専用の器具です。屋外に設置されているか確認してください。

②壁その他の可燃物から十分離れている場所に設置されているか確認してください。

③排気トップの上に洗濯物等がかからない所に設置されているか確認してください。



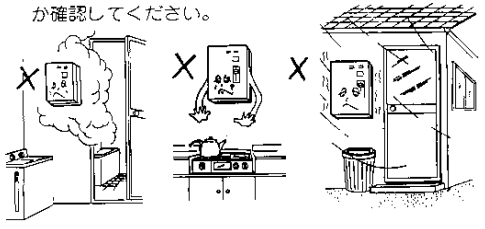


● メーンコントローラ

●湯気、湿気のないところに設置されているか確認してください。
湿気はメーンコントローラの寿命を短かくします。

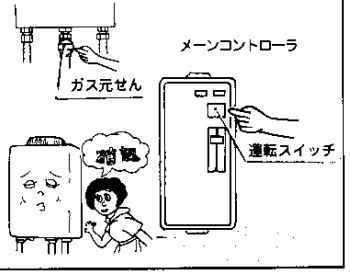
●ガスコンロなど燃焼器具に近接する場所に設置されていないか確認してください。

●屋外に設置されていないか確認してください。

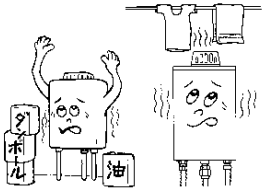


●使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしていないかときどき確かめてください。

●器具をご使用にならないときや外出前、またはおやすみ前には万一の事故がないように**必ずガス元せんをしめ、運転スイッチを「切」にしてください。**

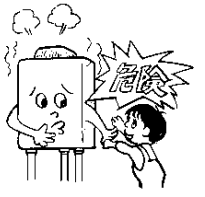


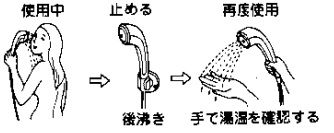
●器具の上やそばに**燃えやすいもの**（ダンボール、揮発油など）を絶対においたり、近づけたりしないでください。



●ご使用中および使用直後は、器具本体の排気トップは熱くなります。**手を触れたりしないでください。**

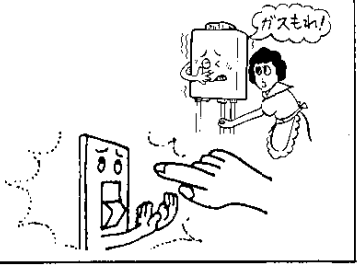
●シャワーをご使用後、すぐに再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかけず、**手で湯温を確認してからお使いください。**
器具の後沸きによって一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。





●ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止して、**ガス元せんをしめ、絶対に使用しないでください。**

●万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。



凍結のおそれのあるとき

●厳寒期には器具内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は**凍結を防止する処置を必ずおこなってください。**（凍結防止方法については11ページを参照）

●凍結したときは

①器具や配管が 破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。

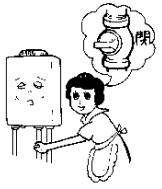
②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。

凍結が溶けた後、水もれがないことを確認のうえご使用ください。

異常のとき

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、**ただちに使用を中止（運転スイッチ「切」、ガス元せん閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。**

〔故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。〕



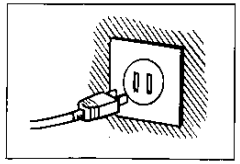
日常の点検・手入れ

●器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。

点検、手入れの方法については14～15ページをお読みください。

落雷のとき

●落雷のおそれのあるときは、使用を中止して**電源プラグを抜いてください。**



設置のとき

●正しく設置されているか、工事説明書を参照のうえお客様自身で確認してください。

給水・給湯・電気の接続

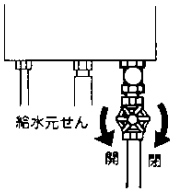
●給水・給湯、電気の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

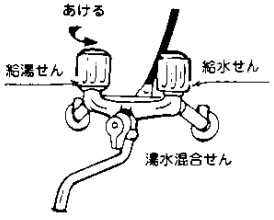
ガス接続

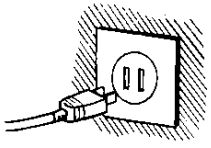
●鉄管接続になっていますので、大阪ガスにご相談ください。

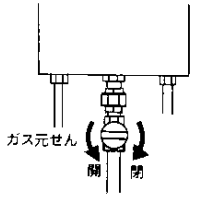
アース接続

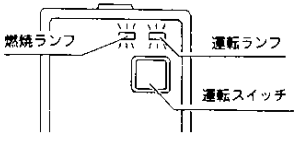
●水道管およびガス管にはアース接続しないでください。











●はじめに

①給水元せんをあけてください。

②給湯せんをあけてください。

〈**ご注意**〉給湯せんから水のでることを確かめてください。
確かめた後給湯せんをしめてください。

③電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりと差し込んでください。

●点火準備

①ガスの元せんを全開にしてください。

②運転スイッチを「入」にしてください。
（運転ランプ(緑)が点灯します。）

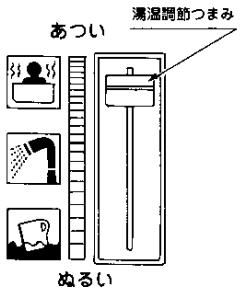
●給　湯

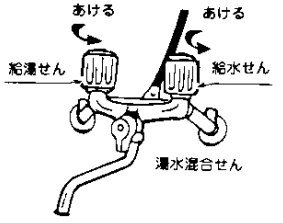
①給湯せんをあけてください。
自動的にバーナーに着火しお湯が出てきます。
（燃焼ランプ(赤)が点灯します。）

〈**ご注意**〉使いはじめは給湯配管内の冷水を追い出すまでお湯が出ません。

②約30秒待ってもお湯が出てこないときは給湯せんをいったんしめ、運転スイッチを「切」にして、約15秒後再び運転スイッチを「入」にし、給湯せんをあけてください。

〈**ご注意**〉給湯せんを絞って使用しますとバーナーに着火しません。全開にしてください。





●湯温調節

①湯温調節つまみでおこなってください。使用目的に応じて適切な位置でお使いください。

②絵表示はおよそのめやすとして参考にしてください。

③湯温調節つまみの位置は、季節（水温）によって多少変ってきますので季節に応じて適切な位置に調節してください。

●消　火

①給湯せんをしめますと、バーナーの炎が消えます。つぎにお使いになるときは、給湯せんをあけるだけでバーナーに着火してお湯がでてきます。

②器具をご使用にならないときは運転スイッチを「切」にしておいてください。ガス元せんも「閉」にしてください。

●**飲料用、調理用としてお使いのとき**

器具内に長時間たまった水は飲料用または調理用に用いないでください。

●**使用後すぐに再度お使いになるとき**

器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、少しだしてから手を触れるようにしてください。

●**給湯せんの同時使用について**

2箇所同時に給湯使用したとき、湯温が低くなることがあります。

シャワー使用中は、同時使用はさけてください。

●**水圧が下がったとき**

この器具は、1kg/cm²以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧がさがると、メーンバーナーは消火しますが故障ではありません。(給水元せんは全開にしてお使いください。

●**湯量について**

33-839型には季節(水温)による湯温の変動を小さくするために水温によって自動的に湯量を変える装置が組み込まれています。そのため湯量は夏場(水温25℃)約9ℓ/分～冬場(水温5℃)約5.5ℓ/分になります。

33-819型は約5ℓ/分の湯量に調整されています。

[redacted]

①給湯使用していて停電になったときは使用できませんので、給湯せんをしめて、メーンコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。

②再通電したときは、8ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

[redacted]

①断水のときは、給湯せんをしめてメーンコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。

②再使用するときは、必らず給湯せんから水のでるのを確かめてから使用してください。

●使用手順は8ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

[redacted]

使用中に燃焼ランプ(赤)が点滅したときは、使用を中止して給湯せんをしめてください。

約5分間様子を見て再度給湯せんをあけて使用してください。そのとき再び燃焼ランプが点滅したときは、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

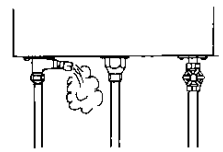
●**バーナー安全装置**

万一使用中にバーナーの炎が消えても生ガスがでないように安全装置が働いて自動的にガスがとまります。

燃焼ランプ(赤)が点滅します。

●**残火安全装置(ハイリミットスイッチ)**

熱交換器が異常な温度上昇をしたときは安全装置が働いて自動的にガスがとまります。燃焼ランプ(赤)が点滅します。



(**ご注意**) ハイリミットスイッチが作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、器具の損傷を防ぐため安全装置(過圧逃し弁)から圧力を逃します。高温の蒸気が噴出しますので、ご注意してください。

●**過熱防止装置(温度ヒューズ)**

使用中器具内の温度が異常に高くなったときは、安全装置が働いて自動的にガスがとまります。

燃焼ランプ(赤)が点滅します。

●**過昇温防止装置(ハイカットサーモ)**

湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇する可能性があるため、過昇温防止装置を設けてあります。この装置が作動しますと、湯温が極端に変動しますが、このままではシャワーやお台所での使用には不適当です。給湯せんを全開にするか、湯温調節つまみで能力を小さくして湯温変動のない状態にして便利にお使いください。

●この器具には万一凍結防止処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために、低温作動ヒーターを組込んでいます。外気温度が下がると自動的に器具内を保温します。

●これは凍結予防のためのもので、外気温度が極端に低くなるような場合は効果がありませんので以下の処置をしてください。

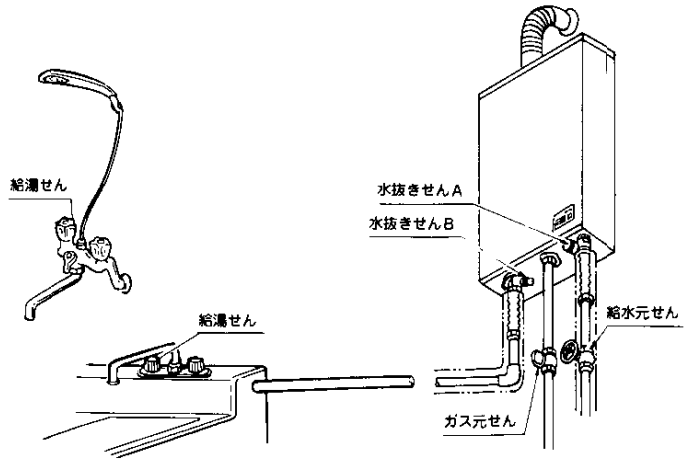
〈**ご注意**〉器具内の水を抜くとき以外は絶対に電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと低温作動ヒーターが作動しません。

1.給湯せんから水を流し放しにする方法(一般的な凍結防止方法)

●器具本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます。

●ガスの元せんをしめ、運転スイッチを「切」にしてから、給湯せんより少量の水〔1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)、特に寒い日は多めに〕を流してください。

また、流量が不安定なことがありますので念のため30分ぐらい後にもう一度、流量を確認してください。



2.器具内の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

●この方法は給水配管部分の凍結防止はできません。

次の手順で器具内の水を抜いてください。

①器具の電源プラグを抜いてください。

②ガス元せんをしめる。

③給水元せんをしめる。

④すべての給湯せんをあける。

⑤水抜きせんⒶ、水抜きせんⒷを左に回して外す。

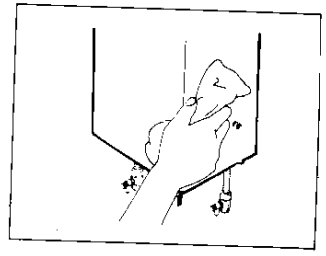
〈**ご注意**〉給湯せんは次にお使いになるときまでゆるめたままに、水抜きせんⒶ、水抜きせんⒷは外したままにしておいてください。

〈**ご注意**〉再度ご使用されるときは、水抜きせんⒶ・Ⓑをしめ給水元せんをあけ、給湯せんから水が流れるのを確かめてください。

●お手入れはやけどをしないように器具がじゅうぶん冷えてからおこなってください。

●器具の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
●排気出口や給気口をふさいでいませんか？
※排気出口、給気口の位置は2ページ**「各部の名称」**を参照してください。

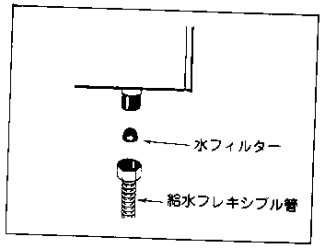
●機器はご使用にししょうがなくても、2～3年に1回ぐらい、バーナーや各部の作動が〝正常〟かどうか点検するのが、安全と長期間ご使用いただくための〝ひけつ〟です。
●お買求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に、点検・診断を依頼してください。



●**飾板のそうじ**

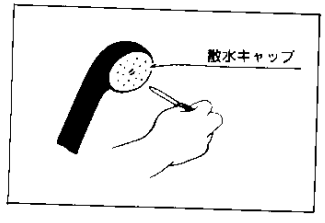
汚れは布または、スポンジに台所用洗剤〈中性洗剤〉をつけてふきとってください。

〈**ご注意**〉洗剤はのこらないようにふきとってください。
シンナーやベンジンなどでふかないでください。印刷がはげます。



●**水フィルターのそうじ**

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯がでにくくなります。その場合は給水元せんをしめ、給水フレキシブル管をはずし、水フィルターを引き出してそうじしてください。



●**シャワーヘッドのそうじ**

シャワーをお使いになるとき、お湯がでにくくなったり、バーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外してそうじしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

原因＼現象		着火しにくい 給湯せんを開いても着火しない	使用中に消火した・消火しやすい	高温の湯がでない	使用中湯温が極端に変動する	黄炎で燃える	異常な音をたてて燃える	過圧逃し弁から水がでる	処置方法	参照ページ
ガス元せんのあきがふじゅうぶん		○		○					ガス元せんを全開にする	8
配管内に空気が残っている		○							点火操作を繰り返す	8
給水元せんのあきふじゅうぶん		○	○						給水元せんを全開にする	8
水圧が適切でない	低い	○	○						点検・修理を依頼する	—
	高い							○	点検・修理を依頼する	—
水フィルターにごみがつまっている		○	○		○				つまり除去または点検・修理を依頼する	15
給湯せんのあきふじゅうぶん		○	○		○				給湯せんを全開にする	8
電源プラグの差し込み忘れ		○							電源プラグを差し込む	8
運転スイッチの入れ忘れ		○							運転スイッチを「入」にする	8
点火装置の故障		○							点検・修理を依頼する	—
水ガバナーの故障		○		○	○				点検・修理を依頼する	—
湯温調節が「ぬるい」になっている				○					湯温調節を「大」にする	9
安全装置が作動		○	○					○	点検・修理を依頼する	—
バーナー炎口、空気孔、ノズルのつまり				○		○			点検・修理を依頼する	—
ノズルへの逆火							○		点検・修理を依頼する	—

処置や原因がわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

お問い合わせ

●16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度確認してください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

① 品　番……　器具の左側面に貼付してあります。

（例1）

(4)33-839(U)
大阪ガス株式会社　00

（例2）

(4)33-819(U)
大阪ガス株式会社　04

② 現　象……　できるだけ詳しく

③ 道　順……　できるだけ詳しく

ガスの種類

●ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書

●この器具には保証書がついています。

この器具は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。

詳しくは保証書をごらんください。

保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

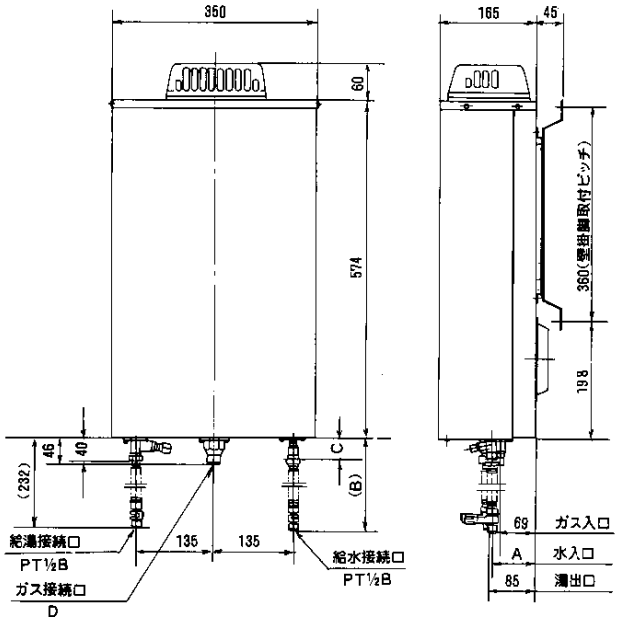
1 電子コントロール方式により使用目的に応じてワンタッチで能力を無段階に切替えることができます。
（33-819型は８号～3.5号、33-839型は10号～3.5号）

2 種火のないダイレクト着火方式でムダなガスは使いません。

3 運転スイッチを押すだけで、あとは給湯せんの、開・閉だけで点火・消火ができます。

4 遠隔操作により器具まで行かなくても操作できます。

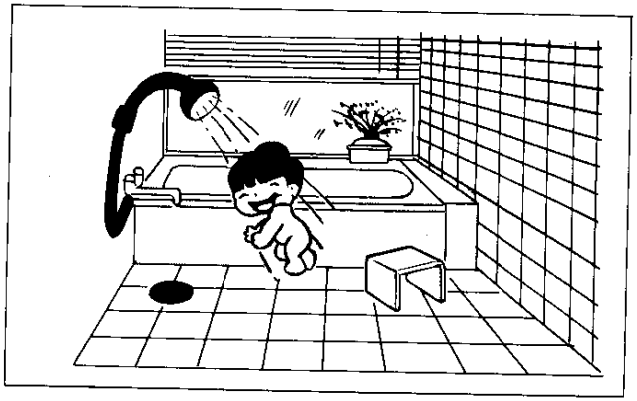
5 従来品にないコンパクトさで設置スペースが少なくてすみます。



注：
1. A、B、C、Dの寸法が33-839と33-819で下表の様に異ります。
2.（　）内寸法はフレキシブル管セットした寸法です。

	A	（B）	C	D
33-839	75	240	48	PT¾B
33-819	50	257	65	PT½B

項目＼種号	33-839型				33-819型			
	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス
最大ガス消費量(kcal/h)	19,500	19,500	19,500	1.5(kg/h)	15,500	15,500	15,500	1.3(kg/h)
設置方式	屋外設置							
外形寸法(mm)	高さ634×幅350×奥行165							
重量(kg)	15							
接続 ガス	20A(PT¾B)				15A(PT½B)			
接続 給水	15A(PT½B)							
接続 給湯	15A(PT½B)							
接続 電気	AC100V							
消費電力(W)	52(低温作動ヒータ60)							
点火方式	連続スパーク点火、ダイレクト着火							
必要使用水圧(kgf/cm²)	1.0							
出湯量〔水温+25℃〕(ℓ/分)	10(湯水混合水せんで混合した時)				8(湯水混合水せんで混合した時)			
安全装置	バーナー安全装置(フレームロッド方式) 風圧スイッチ、水流スイッチ 残火安全装置(ハイリミットスイッチ) 過圧逃し弁、過熱防止装置(温度ヒューズ) 過昇温防止装置(ハイカットサーモ)							



快適にシャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

カスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪カス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町５丁目１	☎大 阪 06（202）2221
南 支 社	〒557	大阪市西成区玉出東２丁目９番41号	☎大 阪 06（652）0901
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪 06（301）1251
堺 支 社	〒590	堺市住吉橋町２丁２番１９号	☎ 堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里３９番６号	☎高 槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町４番１１号	☎西 宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉２丁目３番１７号	☎河 内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町１６番１７号	☎枚 方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町３５８	☎京 都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北２丁目４番１号	☎奈 良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町１丁目１	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町４丁目８	☎姫 路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町篠津２９－１	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町６丁目５７番地	☎豊 岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀６８０の１	☎草 津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町１２番１１号	☎彦 根 0749(22) 3131
（長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町３番４号	☎長 浜 07496(2) 7171）

その他サービスショップ

大阪ガス株式会社

84. 09.（00）大